

平成21年度 陵墓調査報告

陵 墓 調 査 室

調査の概要

当調査室においては、「周知の遺跡」や文献の記載等によりその可能性がある陵墓において、保全・整備のための土木工事などを実施するに際し、その施工区域・箇所における遺構・遺物の有無を確認し、工法の決定に資する目的のため、事前調査・立会調査を実施している。平成21年度においても、各陵墓監区事務所や京都事務所などの関係機関、さらには地元教育委員会とも協力し、以下の区域・箇所において調査をおこなった。その概要を記すことにする。

[事前調査] 2件

本年度は、以下の小奈辺陵墓参考地と宇治墓飛地い号の2箇所において、事前調査を実施した。いずれも報告文は後掲することにする。

- 1 小奈辺陵墓参考地（奈良市法華寺町）墳塋裾護岸その他整備工事に伴う調査
畠傍監区、11～12月実施、担当：清喜裕二・有馬伸・加藤一郎
- 2 菅道稚郎子尊宇治墓飛地い号（京都府宇治市菅道丸山）用地協力依頼に伴う調査
桃山監区、6～7月実施、担当：清喜裕二・篠崎秀雄・妹尾吉紹

[立会調査] 22件

- 3 村上天皇村上陵（京都市右京区鳴滝字多野谷）参道舗装改修工事に伴う調査
桃山監区、10・11月実施、担当：鎌谷幸一・今井隆太朗
6の天智天皇山科陵舗装改修工事と一連の工事である。本陵は「周知の遺跡」とはされていないが、念のため、掘削等に立ち会ったものである。掘削は20cmほどの深さにとどまり、すべて埋め戻し土であった。遺物も確認されなかった。
- 4 菅道稚郎子尊宇治墓（京都府宇治市菅道丸山）外構柵その他整備工事に伴う調査
桃山監区、12～2月実施、担当：福尾正彦・篠崎秀雄・妹尾吉紹・安岡徹悦
報告文は後掲する。
- 5 白河天皇成菩提院陵（京都市伏見区竹田淨菩提院町）ほか外構柵改修工事に伴う調査
桃山監区、12・1月実施、担当：佐々木靖秋・舛吉悠也
白河天皇陵の背後部分、及び近隣に所在する近衛天皇安樂寿院南陵（同区竹田内畠町）の南東隅付近の外構柵の改修に伴い、その掘削・埋め戻しに立ち会った。そのほとんどは既存の基礎部分にあたる。白河天皇陵では50～80cm、近衛天皇陵では約80cmの深さを掘削した。そのほとんどは盛土であり、間知石が確認されたところもある。出土した間知石は、白河天皇陵では調査箇所の北側と南側で、また近衛天皇陵では調査箇所を延長した西側で数段の石積の石材として用いられており、それぞれに関連するものであろう。施工にあたって、出土した間知石は原則保存としたが、一部の間知石については取り除くことが必要となつたため、実測等の後、それぞれの陵域内で保管することとした。土器等は確認されなかつた。
- 6 天智天皇山科陵（京都市山科区御陵上御廟野町）舗装改修工事に伴う調査
月輪監区、10月実施、担当：藤原雅人・山本在大
当天皇陵の参道入口にある鏡橋からその中途の里道交差点までの未舗装区間にコンクリート舗装（深さ約12cm）を施し、また、参道入口車止柵を改修（深さ約1m）するに伴い、それぞれの掘削と埋め戻

しに立ち会った。前者は、床面・側面は過去にコンクリート舗装されており、その後の盛り土を除去するのみであった。また、後者については、土層は8層分が確認された。上3層は現在の参道に関わる整地層、下5層は赤褐色主体の堅緻な土層である。陵前の河川の旧河道を埋めた盛土である可能性が考えられる。両掘削箇所とも遺構・遺物は確認されなかった。

7 神楽岡部事務所（後二條天皇北白河陵：京都市左京区北白川追分町）改築工事に伴う調査

月輪監区、1・2月実施、担当：清喜裕二・藤井 熊・堀井 清

報告文は後掲。

8 後鳥羽天皇火葬塚（鳥取県隱岐郡海士町大字海士）林相整備工事に伴う調査

月輪監区、2月実施、担当：清喜裕二

報告文は後掲する。

9 後花園天皇後山国陵（京都市右京区京北井戸町 常照皇寺内）以下透塙改築その他工事に伴う調査

月輪監区、3月実施、担当：岩槻知樹・山本在大

光嚴天皇山国陵・後花園天皇後山国陵・後土御門天皇分骨所は同兆域で、四周を透塙に囲まれている。その改修工事をおこなうこととなり、13箇所の掘削（深さ約50cm）および埋め戻しに立ち会った。土層は2層に分けられ、上層は黒色土で白砂を含み、下層は茶褐色粘質土であった。既設の控柱設置箇所であるため、前回工事の埋め戻し土、あるいは施工後の整地層であると考えられた。

10 後堀河天皇觀音寺陵（京都市東山区今熊野泉山町 泉涌寺内）ほか陵名石標改修工事に伴う調査

月輪監区、3月実施、担当：松村一成・安江竜太

後堀河天皇觀音寺陵、および御近陵内の四条天皇月輪陵以下7箇所の計8箇所において、陵墓名石標の改修工事をおこなうこととなり、その掘削（深さ0.7～0.8m）および埋め戻しに立ち会った。後堀河天皇陵では、現在陵名石標が存在していない。土層は礫混じり土の下に粘質土が認められた。おそらくは造成に伴う盛り土であろう。また、御近陵内の掘削箇所の土層は、いずれも類似した様相を示していた。つまり、大きくは礫混じりの粘質土と比較的純粋な粘質土の二者である。細かく分層できる箇所では、おおむね上層に礫混じりの粘質土、下層に純粋な粘質土が堆積している傾向が認められる。また、堆積状況が比較的水平であることから、陵墓地の整備にあたって丁寧におこなわれた盛土と考えられる。遺構や遺物は認められなかった。

11 弘文天皇長等山前陵（滋賀県大津市御陵町）隣接地滋賀県警察学校道場等建築工事に伴う調査

月輪監区、3・4月実施、担当：有馬 伸・藤原雅人・長濱匡洋

本陵の南側に位置する滋賀県警察学校において、道場等の建築工事がおこなわれることとなった。境界線沿いにおける擁壁設置およびそれに伴う地盤改良工によって陵域内の一部が掘削されるため、掘削（深さ約70cm）および埋め戻しに立ち会った。現地表面下床面までは陵墓地整備に伴う盛土あるいは旧排水溝内の堆積土、もしくは隣接地造成時の盛土であり、それ以下は自然堆積の粘質土であった。隣接地内の掘削箇所の観察によれば粘質土層は数m以上堆積しており、周辺がかつては大きな谷状地形を呈していたことが想定された。遺構遺物は確認できなかった。

12 孝昭天皇被上博多山上陵（奈良県御所市大字三室）石階段手摺取設工事に伴う調査

畠傍監区、11月実施、担当：奥野 肇・堂園雅章・寺本公通

崇神天皇山辺道勾岡上陵（奈良県天理市柳本町）ほかの石階段手摺り取設工事と併せて、一括発注したものである。孝昭天皇陵以外は既存基礎のコア抜きで、掘削を伴わなかった。掘削範囲は参道階段の造成土および石積み裏込め土内にとどまり、遺構遺物は認められなかった。

13 聖武天皇佐保山南陵（奈良市法蓮町）鳥居改築工事に伴う調査

畠傍監区、12月実施、担当：鎌田幹史・上原孝浩

鳥居改築工事に伴い、掘削（深さ約1.5m）時に立ち会った。掘削範囲は旧鳥居建立時の盛土内にとどまった。遺構遺物は確認できなかった。

14 孝靈天皇片丘馬坂陵（奈良県北葛城郡王寺町本町三丁目）鳥居改築工事に伴う調査

畠傍監区、1月実施、担当：南 義孝・藤田 裕・多田京介

鳥居の改築工事に伴い、掘削（深さ約1.5m）時に立ち会った。現地表面下0.4～0.5mまでは拝所造成時の盛土で、それ以下は地山であった。地山上には大振りな割石が敷き詰められていた。遺構遺物は認められなかった。

15 顯宗天皇傍丘磐坏丘南陵（奈良県香芝市北今市）鳥居改築工事に伴う調査

畠傍監区、3月実施、担当：南 義孝・藤田 裕・多田京介

鳥居改築工事に伴い、掘削（深さ1.2～1.4m）時に立ち会った。掘削箇所の土層は4層に大別でき、最上層は表土で、2層目は拝所整備時の盛土、3層目は旧表土であり、4層目は地山層の可能性が考えられた。遺構遺物は確認できなかった。

16 開化天皇春日率川坂上陵（奈良市油阪町）駐車場補償工事に伴う調査

畠傍監区、12・2月実施、担当：鎌田幹史・上原孝浩

三条通の拡幅工事への用地協力に伴って、参道入口部の駐車場敷地の位置が変更するため、奈良市による補償工事に係る掘削・埋め戻しに立ち会った。掘削は、小土堤撤去部分（深さ0.3～0.8m）、排水枠設置箇所（深さ約0.7m）、排水管設置箇所（深さ約0.3m）、U字溝設置箇所（深さ約0.5m）でおこなった。その結果、小土堤は近代の盛土であることを確認した。また、排水枠、排水管、U字溝の設置箇所は参道整備時の盛土内と思われ、排水枠設置箇所では円礫が詰め込まれた暗渠が検出された。小土堤の盛土中より江戸時代の瓦片・磁器片が出土している。

17 開化天皇春日率川坂上陵（奈良市油阪町）制札屋形改築工事に伴う調査

畠傍監区、3月実施、担当：鎌田幹史・上原孝浩

前項16と同じく三条通の拡幅工事への用地協力に伴い、制札屋形の位置を変更することになり、その基礎（深さ0.6～0.7m）の掘削・埋め戻し時に立ち会った。掘削箇所の床面付近においてもブロック片が混入するような近年の整地土であった。遺構遺物は確認できなかった。

18 反正天皇百舌鳥耳原北陵（大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町二丁）外構柵改修工事に伴う調査

古市監区、7・8月実施、担当：浅井良寛・ 笹尾佳裕

当陵の前方部西側隅角付近外堤で外構柵改修工事をおこなうこととなり、掘削を要する場所において、掘削（深さ約0.6m）・埋め戻し時に立ち会った。掘削範囲内では、上から表土と盛土の2層のみであった。盛土層は既存の石積みを施工した際の盛土と考えられた。

19 清寧天皇河内坂門原陵（大阪府羽曳野市西浦六丁目）外堤入水管改修工事に伴う調査

古市監区、8月実施、担当：清喜裕二・桐山洋介・近藤時男

報告文は後掲する。

20 仁賢天皇埴生坂本陵（大阪府藤井寺市青山三丁目、調査地は羽曳野市野々上）駐車場車止改修工事に伴う調査

古市監区、8月実施、担当：小走直敬・中野裕樹

当陵の参道入口付近に、市道堺・羽曳野線を挟んで位置する駐車場の車止を改修することになり、掘削（深さ約0.3m）・埋め戻しに立ち会った。確認された土層は、粘土混じりの搅乱層、碎石土層、基礎コンクリートの3層であり、これらは以前の駐車場および車止整備時のものと考えられる。遺構遺物は確認されなかった。

21 雄略天皇丹比高鷲原陵（大阪府羽曳野市島泉八丁目）鳥居改築工事に伴う調査

古市監区、12月実施、担当：小走直敬・中野裕樹

鳥居改築箇所鳥居改築工事に伴って、掘削（深さ約1.5m）・埋め戻し時に立ち会った。掘削箇所の土層は上から表土、黄褐色粘質土（拝所整備時の造成土）、青灰色粘土（地山）となっていた。遺構遺物は認められなかった。

22 崇徳天皇白峯陵（香川県坂出市青海町）鳥居改築工事に伴う調査

古市監区、1月実施、担当：近藤時男・小走直敬

鳥居の改築箇所鳥居改築工事に伴い、掘削（深さ約1.1m）・埋め戻しに立ち会った。掘削箇所の土層は上から表土、暗褐色の粘質土、10~70cmの大きさの礫層であり、いずれも昭和52年度におこなわれた旧鳥居改築工事の際の埋戻し土、もしくはそれ以前の拝所整備時の盛り土と考えられた。遺構遺物は認められなかった。

23 応神天皇恵我藻伏崗陵（大阪府羽曳野市誉田六丁目）外構柵設置工事に伴う調査

古市監区、3月実施、担当：桐山洋介・須藤周太

後円部南側の取水路に隣接した外堤外法裾の斜面地に外構柵を設置することになり、掘削（深さ約0.6m）・埋め戻し時に立ち会った。掘削箇所は水路に沿っており、確認された土層は基本的に上から表土、茶褐色粘質土（水路の浚渫土）、茶色礫混じり土（水路設置時の埋土）であった。なお、支柱設置部分については、径約20cmの範囲で深さ約1.2m、さらに深掘りしたところ、水路設置時埋土の下層は黄褐色砂質土層（地山か）であった。

24 白鳥陵（大阪府羽曳野市軽里三丁目）外堤護岸整備工事に伴う調査

古市監区、3月実施、担当：桐山洋介・近藤時男・須藤周太

白鳥陵の外堤護岸工事は掘削を伴わない工法を採用したが、前方部外堤南西隅角部の入水口整備工事箇所については、堆積土を除去するための掘削（深さ約1m）と埋め戻しに立ち会った。当該部は昭和48年に調査され、今回の未施工地以外はすでに護岸工事がなされているところでもある。昭和48年の段階では、外堤は地山である河床礫層がところどころ露呈した状態であった。今回の掘削箇所の土層は上から黄褐色砂質土、灰褐色粘質土であった。確認されたこれらの土層は、入水口からの排出物が堆積したものと考えられる。遺構遺物は確認されなかった。

平成21年度には、上記調査以外にも、以下のような調査を実施した。

〔墳丘調査〕 1件

25 五十狹城入彦皇子墓（愛知県岡崎市西本郷町字和志山）

畠傍監区、3月実施、担当：徳田誠志・清喜裕二・鎌田幹史・濱本厚志

墳丘部を中心に陵墓地の測量（縮尺1/100、25cm等高線）を実施した。その詳細は、来年度に報告する予定である。

〔所蔵出土品関係資料調査〕 4件

3月実施、担当：清喜裕二・加藤一郎

26 岡山県古代吉備文化財センター（岡山市北区西花尻）

大吉備津彦命墓（岡山市北区尾上・吉備津）出土と伝えられる「埴輪」の調査をおこなった。その詳細は別掲「大吉備津彦命墓採集の遺物について」に収録する。

27 財団法人大阪市文化財協会（現在、財団法人大阪博物館協会大阪文化財研究所：大阪市中央区法円坂）

繼体天皇皇后手白香皇女衾田陵（奈良県天理市中山町）出土と伝えられる「埴輪」の調査を実施した。機会を見て、報告する予定である。

28 大阪府教育委員会文化財調査事務所（大阪府堺市南区竹城台）

応神天皇恵我藻伏崗陵（大阪府羽曳野市誉田六丁目）の隣接地、五十瓊敷入彦命宇度墓（大阪府泉南郡岬町淡輪）、および西陵古墳（大阪府泉南郡岬町淡輪）から出土した埴輪の調査をおこなった。

29 堺市文化財調査事務所（大阪府堺市南区稻葉）

平成20年度に百舌鳥陵墓参考地（大阪府堺市北区百舌鳥本町）の域外で出土した埴輪の調査をおこ

なった。

〔文献調査〕 2件

2月実施、担当：福尾正彦

30 奈良県立図書情報館（奈良市大安寺西）

明治～昭和初期の陵墓関係公文書、竹口尚重（英斎）『陵墓志』（寛政年間：1794頃）の写本等の調査をおこなった。

31 奈良県立橿原考古学研究所（奈良県橿原市畝傍町）

「末永雅雄先生旧蔵資料」のうち、明治十三年の陪冢調査関係資料を調査した。

(福尾正彦)